



上海市魯迅初級中学から 当協会に感謝状が届く！

7月3日に東向陽台中学校を訪れた上海市魯迅初級中学から、富谷市日中に感謝状が贈られてきました。【感謝状全文を裏面に掲載】

上海市魯迅初級中学の一行（生徒2・3年生24名、先生ら6名）への、授業参観の前に行われた富谷市日中による歓迎会では当協会が依頼した仙台市在住の村谷静香さん（写真左端）が通訳をして下さいました。はじめに東向陽台中学校の高橋校長から「東向陽台中の校是である『前進』という言葉は魯迅の考えに通じている」と歓迎の挨拶があり、続いて当協会の松田会長の歓迎の挨拶も歓迎の気持ちを十分伝えていただきました。また、授業参観でも、上海の先生方に授業の内容などの状況を説明し、私たちにも、上海の先生方の反応などを伝えてくれました。

今回の学校交流は、日本文化教育連盟主催で、以前、当協会と交流があった佐久間明秋氏のお力により実現したものです。今後も日中友好の懸け橋になれるよう努めていきたいです。



「日中生徒交流 言葉はいらず」

7月10日付『河北新報』に上記の見出しで、大きく今回の交流の様子が掲載されました。カラー写真で“東向中手踊り”で歓迎している様子の他、記事では上海魯迅初級中学の俞博雄さんにインタビューし「みんな礼儀正しく笑顔だったのが印象的。言葉が通じなくても声で温かみを感じた」との感想も紹介された。

「戦後中国で育った少年とその後」

江幡武氏（県協会相談役）が講演会行う

「戦後中国で育った少年とその後」
江幡武先生講演会

とき：2024年6月29日（土）
ところ：東京エレクトロンホール宮城/602会議室



6月29日、宮城県日中主催による江幡武・県協会相談役（東北大学名誉教授）の講演会が東京エレクトロンホール宮城で開催されました。会場には多数の参加者があり、特に高校、大学に所属している中国人留学生の若い聴衆が多かったことが、今回の特徴でした。

幼少期、父親の仕事の関係で中国東北地方で育った江幡先生。中学は北京市の中学校に通っていたそうで、当時の同級生とは今も親交があるそうです。東北大学教授退官後、仙台文学館で中国の学者による「三国志夜話」の講演があり、その通訳を依頼され、また当時の県日中関係者から声を掛けられ協会に入会したそうです。「現役の時は、英語ばかり使っていたが、協会に入ってから中国語を使う機会と、配る名刺の数が増えた」と後日、話をしていました。

先生の優しいお人柄と中国に対する深い見識のおかげで、宮城県日中が発展したことは、言うまでもありません。先生のこれからのご健康と益々のご多幸をお祈り申し上げます。

なお、ご講演の内容は、先生の著者『激流の中で』に、詳しく書かれています。ご覧になりたい方は、横山まで。

致富谷市日中友好协会感谢信

尊敬的富谷市日中友好协会：

在这个意义非凡的夏日，上海市鲁迅初级中学的师生代表团，怀揣着对中日友好的美好愿景，踏上了前往仙台的研学之旅。在此，我们衷心感谢贵协会的大力支持与热情帮助，使我们的行程不仅充满了学术的探索，更满载着友谊的温暖。

贵协会精心策划的每一场活动，都让我们深切感受到了中口两国人民之间的深厚情谊。无论是参观仙台博物馆、东北大学，还是实地体验日本中学的校园生活，贵协会的专业指导与周到安排，让我们得以深入了解日本的文化精髓，同时也为两国青少年搭建了一座沟通的桥梁。特别是在参观富谷市东向阳台中学时，贵协会会长所作的一番关于协会的由来发展、会长自己对鲁迅先生的认识以及对在场所有学生的寄语都让我们师生都深受感动。不仅仅是因为贵协会会长言语中透露出的真挚情谊，更是为鲁迅先生的文化之魂在日本仍旧能影响他人而感到内心震动。在此非常感谢协会全程为我们提供的讲解，极大地丰富了我们的认知，激发了我们对中日文化交流的思考。

我们深知，友好与合作是连接两国人民心灵的纽带。贵协会的不懈努力，不仅促进了教育文化的交流，更为维护和发展中口友好关系做出了积极贡献。对此，我们表示最崇高的敬意与最深的感谢。

期待未来双方能有更多合作，共同推动中日友好事业向前发展。愿我们的友谊长存，共创和平与发展的美好未来。

再次感谢，祝贵协会工作顺利，万事如意！



= 日本語訳文 =

富谷市日中友好協会への感謝状

富谷市日中友好協会の皆様へ：

この意義深い夏の日に、上海市魯迅初級中学の教職員と生徒の代表団は、中日友好の美しい願いを胸に、仙台への研学の旅に出発しました。ここに、私たちの旅程を学術的な探求だけでなく、友情の温かさで満たして下さった貴協会の大きなご支援と熱心なご助力に、心から感謝申し上げます。

貴協会が精心込めて企画された各種活動は、私たちに中日両国民の深い友情を深く感じさせてくれました。仙台博物館や東北大学の見学、日本の中学校のキャンパスライフを实地体験する際の専門的なガイドと丁寧なアレンジにより、私たちは日本の文化の精髓を深く理解することができました。同時に、両国の青少年の間にコミュニケーションの橋を架けることもできました。特に富谷市東向阳台中学校を訪問した際に、貴協会の会長が協会の由来と発展について、また会長ご自身の魯迅先生に対する認識および在場するすべての学生へのメッセージについて語って下さったことは、私たちの心に深く響きました。会長の言葉に込められた真摯な友情はもちろんのこと、魯迅先生の文化的な魂が日本でおも人々に影響を与えていることに、私たちは心から感動しました。このように、貴協会が全行程にわたり提供して下さった解説は、私たちの知識を大いに豊かにし、中日文化交流についての思考を深めるきっかけとなりました。

私たちは、友好と協力が両国民の心を結ぶ絆であることを深く理解しています。貴協会の絶え間ない努力は、教育文化の交流を促進するだけでなく、中日友好関係の維持と発展にも積極的に貢献しており、これに対して最も崇高な敬意と最深の感謝を表します。

今後、両者がさらに多くの協力を通じて、中日友好の事業を共に推進していただけることを期待しています。私たちの友情が永遠に続き、平和と発展の美しい未来を共に創造していきましょう。

改めて感謝の意を表し、貴協会のますますのご発展とご多幸をお祈り申し上げます。

